

## 熊本大学学術リポジトリ

### Kumamoto University Repository System

Title	句屑[承前]
Author(s)	菅, 第六
Citation	龍南, 2 1 3 : 5 6 - 5 7
Issue date	1930-03-10
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2298/6950">http://hdl.handle.net/2298/6950</a>
Right	

句

屑

菅

第

六

吹かれ來し雀小ささよ散る柳

桐一葉落れば鳩が舞はんとす

祭の子甘酒飲んで又出でし

夜長の子團栗持ちて眠がらず

此の濃霧冷ゆるぞと草鞋しめにけり

山の霧ふとある流れ跨ぎけり

時計巻いて更けし長夜を寝るとせし

破れ襖繕ふ間なく冬の來し

梟や風の絶え間を呼ぶ如く

かばかりの榮屑に寄りぬ冬あひる

斑ら雪あさり雞の寄りにけり

眼つぶりて冬木のもとのかけろ哉

冬ざれの雞ついて來し戸口かな

初霜に今朝の卵の大ききよ

霜の道駈けて來る子のお辭儀かな

藪深く水音澄めり初明り

顔うつる大黒柱や初曆

向き合ふて垣結ふ小春の夫婦かな